

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：3月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 主席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●4月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 1)、**3月の訪日外客総数(推計値ベース)は12,300人で、前月(7,400人)から増加したものの、水準は依然低い。伸びは前年同月比-93.6%と17カ月連続のマイナス。**なお、COVID-19 感染拡大による影響で昨年水準が低いため、影響のない前々年同月(2019年3月)比で見れば、-99.6%と依然訪日外客は消失した状況が続いている。

▶訪日外客数を国・地域別にみると、トップ5は中国が4,000人、韓国が2,000人、インドが700人、台湾、米国がそれぞれ600人であった。うち、中国、韓国、インドは前月からいずれも増加したが、低水準が続いている。

▶上記の国・地域の訪日外客数の伸びをみると、中国、インド、台湾、米国は14カ月連続、韓国は21カ月連続の前年比マイナス。

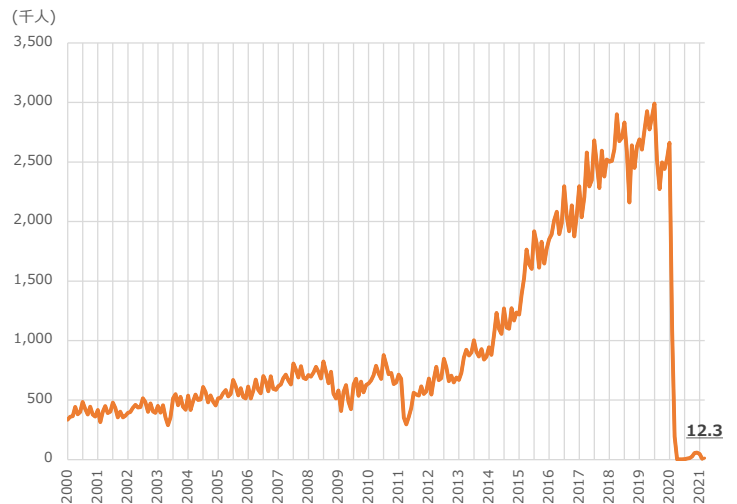
▶COVID-19 変異株の新たな感染拡大による悪影響が国内外で現れはじめており、厳しい水際対策が続くと予想されることから、訪日外客数は当面底這いの状況が続こう。

▶JNTO 訪日外客統計を目的別にみれば(図 2 及び表 2)、**1月の総数(暫定値ベース)は46,522人(前年同月比-98.3%)**となった。うち、観光客は547人(同-100.0%)、商用客は3,099人(同-97.3%)、その他客は42,876人(同-83.4%)であった。観光客、商用客は16カ月連続、その他客は12カ月連続、いずれも前年比マイナスとなった。

▶目的別国・地域別のトップ5をみれば、1月の観光客は米国が130人、中国が83人、韓国が76人、フランスが20人、カナダ、ベトナムがそれぞれ19人。商用客は中国が649人、韓国が585人、タイが218人、米国が138人、フィリピンが118人。その他客はベトナムが19,963人、中国が9,493人、韓国が1,874人、米国が938人、インドネシアが883人であった。

▶ベトナムのその他客をみれば、ビジネス目的での往来が緩和されて以降、3カ月連続で1万人を超える水準となっている。その他客には留学や研修などの目的が含まれるため、主に技能実習生などが訪日していると考えられる。しかしながら、1月14日以降、入国制限が厳格化されたため、ビジネス目的での往来緩和も一時停止されており、来月以降は低水準となろう。

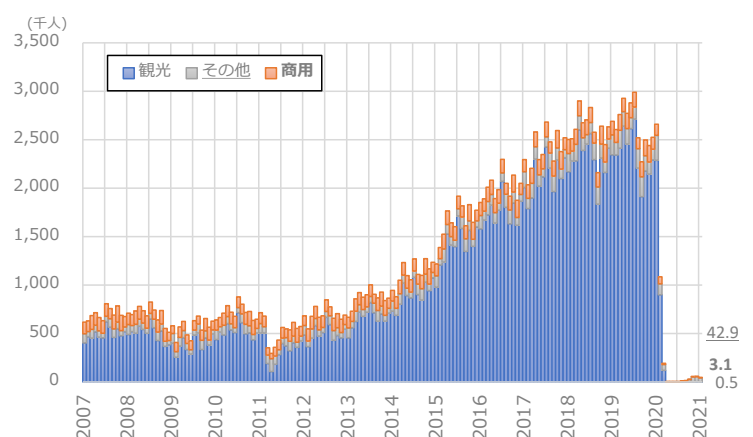
図1 訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2019年:確定値、20年及び21年1月:暫定値、21年2-3月:推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注)「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●3月関西の財貨・サービス貿易の動向

▶3月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**3,129人**で前月(1,879人)から増加した。伸びは前年同月比**-91.2%**と14カ月連続のマイナス(図3及び図4)。

なお、コロナの影響がない前々年同月(2019年3月)比では**-99.6%**となっており、入国者は消失した状況が続いている。また、同月の日本人出国者数は**2,411人**で同**-95.3%**と15カ月連続で減少した。前々年同月比は**-99.4%**となっており、アウトバウンド需要も消失した状況が続いている。

▶日本の水際対策が開始されてから1年以上が経過した。**昨年3月**は2月に入国制限の対象となった中国や韓国等の一部地域に加え、欧州地域も追加されたため、関空への入国者数は大幅減少し、**3万5,696人の低水準であった**。

▶図4は関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較したものである。3月は前年同月比の伸びが前月より幾分縮小したように見えるが、これは前年同月の低水準が影響している。

▶**関西3月の輸出**は中国を中心としたアジア向け輸出の好調もあり、**前年同月比+14.6%**で**2カ月ぶりのプラス**。また**輸入**は**同+6.2%**と**2カ月連続のプラス**。結果、**関西の貿易収支は3,809億円と14カ月連続の黒字**となった。また、貿易総額(輸出入合計)は**同+10.8%**となり、**3カ月連続のプラス**であった(前月:同+6.1%)(図5)。

▶**対中貿易動向**をみると(図6)、**関西3月の対中輸出額**は前年同月比**+22.4%**で**10カ月連続のプラス**。伸びは前月(同+5.1%)から大幅拡大した。プラスチックや科学光学機器などが輸出増に寄与した。また**対中輸入額**は**同+4.5%**で**2カ月連続のプラス**。輸入増に寄与したのは、音響・映像機器(含部品)や事務用機器などであった。

▶**20年度の関西の輸出**は**前年度比-2.7%**と**3年連続のマイナス**となった。COVID-19の感染拡大で、米国や欧州向けの輸出が減少した一方で、早期に経済回復した中国向けの輸出は増加した。品目別では、自動車や家電製品などに使う非鉄金属や、在宅勤務により需要が増加したPCなどに使う半導体等電子部品が増加。また、**輸入は同-8.0%**と**2年連続のマイナス**。不織布マスクなどの織物用糸及び繊維製品やタブレット端末などの事務用機器が増加した一方で、エネルギー関連の原油及び粗油などは大きく減少した。

図3 関西国際空港 訪日外客入国者数推移

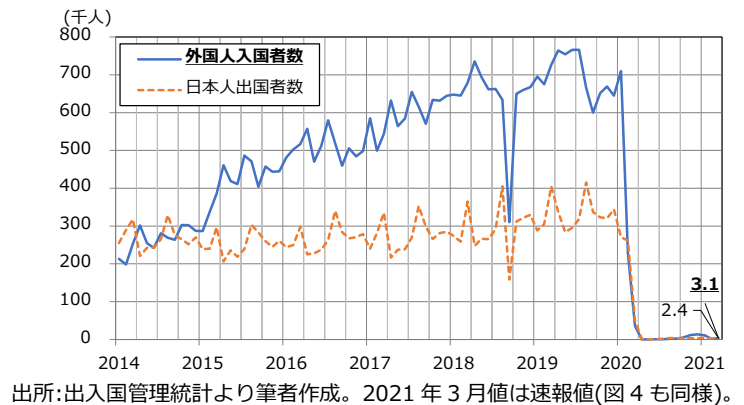


図4 経済ショックからの回復の比較

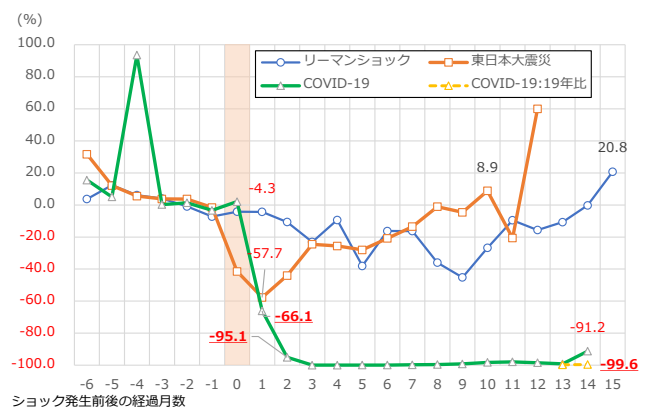


図5 関西 対世界貿易の推移

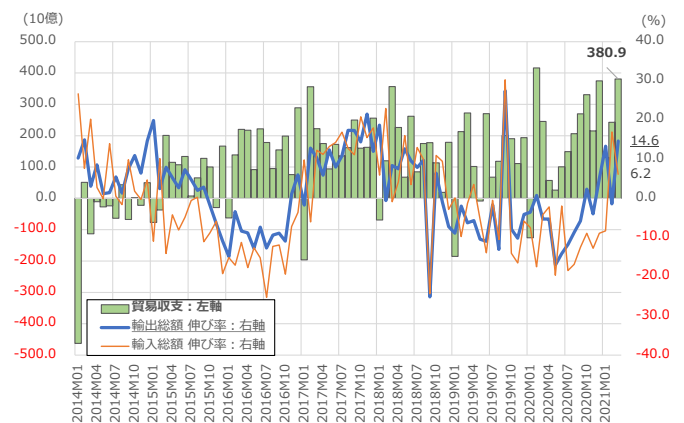
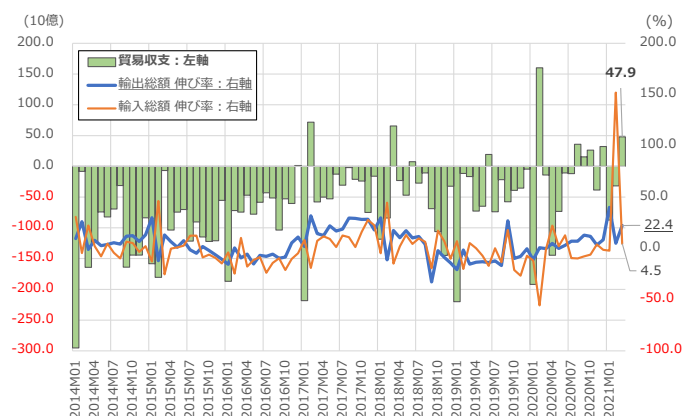


図6 関西 対中貿易の推移



出所: 「大阪税関貿易速報資料: 近畿圏」より筆者作成

トピックス 2

●1月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶1月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は前年同月比-63.9%と13カ月連続のマイナスとなった(図7)。1月14日から京都府、大阪府、兵庫県に緊急事態宣言が再発令されたため、マイナス幅は前月(同-47.0%)から拡大した。2府1県への再発令期間は2月28日まで継続されたため、2月の宿泊者数の動向には引き続き注視が必要である。

▶うち日本人延べ宿泊者数をみれば、2,993.0千人泊であった。伸びは13カ月連続の前年同月比マイナス(同-49.4%)で、前月(同-31.2%)からマイナス幅は拡大した(図7及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が1,009.9千人泊(同-50.6%)、京都府が533.9千人泊(同-54.9%)、兵庫県が491.6千人泊(同-46.9%)、三重県が281.7千人泊(同-47.3%)、和歌山県が176.2千人泊(同-44.3%)、滋賀県が141.0千人泊(同-42.7%)、福井県が119.8千人泊(同-49.6%)、鳥取県が98.9千人泊(同-43.1%)、奈良県が75.9千人泊(同-30.4%)、徳島県が64.1千人泊(同-55.6%)であった。なお、京都府はGo Toキャンペーン事業の効果もあり、昨年11月に前年比プラス(同+2.6%)に転じたものの、以降2カ月連続でマイナス幅が拡大している。

▶うち外国人延べ宿泊者数をみれば、97.1千人泊であった。伸びは前年同月比-96.3%で前月(同-94.7%)からマイナス幅は拡大し、12カ月連続のマイナス(図7及び図9)。府県別に外国人延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が70.2千人泊(同-95.3%)、京都府が9.8千人泊(同-98.9%)、兵庫県が6.4千人泊(同-93.4%)、三重県が4.7千人泊(同-81.7%)、和歌山県が2.3千人泊(同-92.9%)、滋賀県が1.3千人泊(同-95.3%)、福井県が1.3千人泊(同-87.4%)、鳥取県が0.8千人泊(同-93.4%)、奈良県が0.4千人泊(同-98.9%)、徳島県が0.1千人泊(同-98.8%)であった。

▶関西の延べ宿泊者数を宿泊者の居住地別で見ると、20年5月に県内・県外(外国人宿泊者含む)ともに大底となった(図10)。特にGo To トラベルキャンペーン事業が開始された7月以降、中でも県外の宿泊者数の増加が特徴的である。しかし、COVID-19感染再拡大(第3波)を受け、事業が一時停止されて以降、徐々に宿泊者数は減少に転じている。21年1月は、県外が2,114.5万人泊(前年同月比-69.7%)、県内が850.1万人泊(同-20.1%)と、特に県外からの宿泊者が大幅に減少している。

図7 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

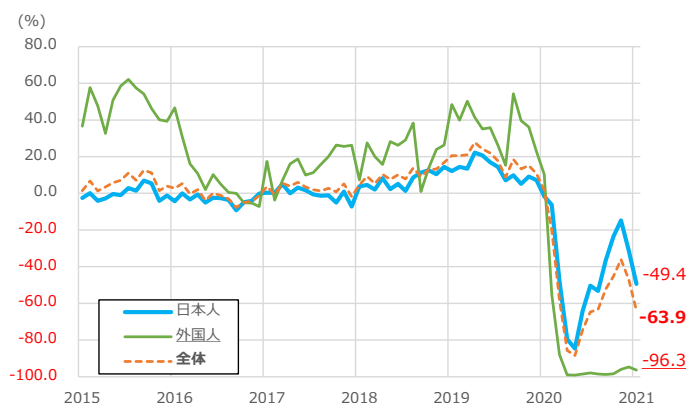


図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

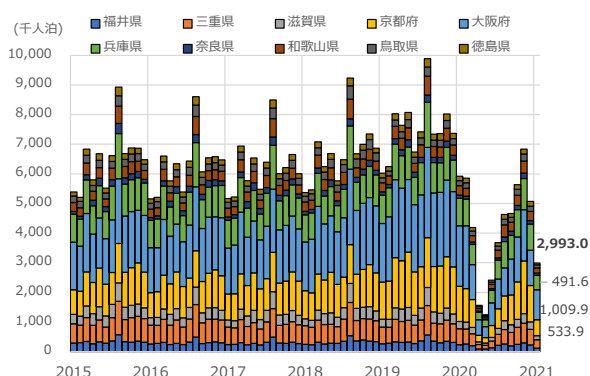


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

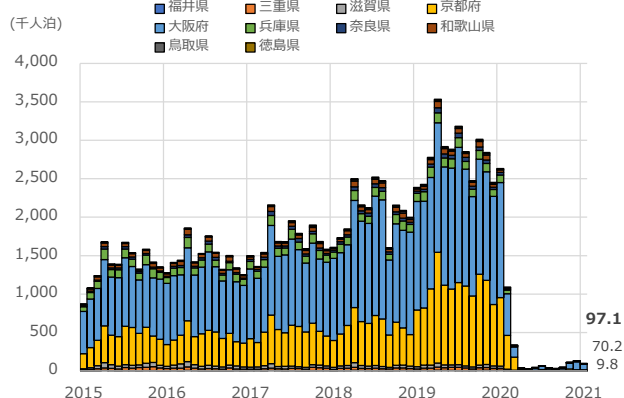
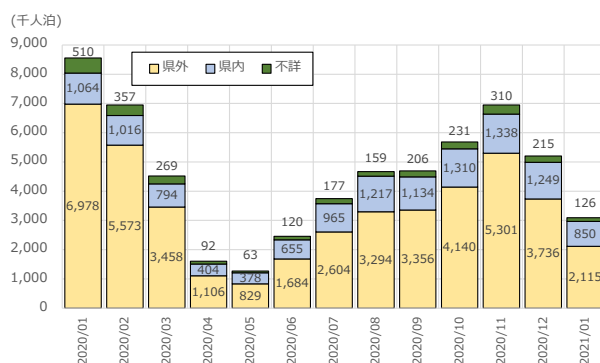


図10 関西 居住地別延べ宿泊者数の推移



出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図7~10)

表1 2021年3月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	3月	3月		1-3月	1-3月	
総数	2,760,136	12,300	-99.6	8,053,797	66,200	-99.2
総数(韓国・その他除く)	2,057,094	7,630	-99.6	5,710,543	49,950	-99.1
韓国	585,586	2,000	-99.7	2,080,773	5,400	-99.7
中国	691,279	4,000	-99.4	2,169,317	15,900	-99.3
台湾	402,433	600	-99.9	1,189,760	1,600	-99.9
香港	171,430	60	-100.0	505,046	260	-99.9
タイ	147,443	100	-99.9	347,937	900	-99.7
シンガポール	43,687	60	-99.9	92,465	200	-99.8
マレーシア	50,615	100	-99.8	118,674	400	-99.7
インドネシア	39,609	300	-99.2	96,708	1,400	-98.6
フィリピン	48,277	200	-99.6	119,434	1,400	-98.8
ベトナム	47,881	200	-99.6	122,633	20,400	-83.4
インド	17,752	700	-96.1	39,291	2,200	-94.4
豪州	44,175	50	-99.9	172,896	190	-99.9
米国	176,564	600	-99.7	372,424	2,200	-99.4
カナダ	37,959	50	-99.9	84,135	200	-99.8
メキシコ	5,740	20	-99.7	12,244	100	-99.2
英国	38,610	200	-99.5	83,718	500	-99.4
フランス	29,408	90	-99.7	62,125	720	-98.8
ドイツ	28,659	80	-99.7	53,401	480	-99.1
イタリア	14,956	50	-99.7	26,886	230	-99.1
ロシア	11,701	90	-99.2	23,618	380	-98.4
スペイン	8,916	80	-99.1	17,831	290	-98.4
中東地域	11,726	70	-99.4	19,292	230	-98.8
その他	105,730	2,600	-97.5	243,189	10,620	-95.6

表2 2021年1月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)	2020年	2021年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月		1月	1月		1月		
総数	2,661,022	46,522	-98.3	2,287,755	547	-100.0	115,099	3,099	-97.3	258,168	42,876	-83.4
韓国	316,812	2,535	-99.2	266,717	76	-100.0	20,946	585	-97.2	29,149	1,874	-93.6
中国	924,790	10,225	-98.9	804,901	83	-100.0	24,645	649	-97.4	95,244	9,493	-90.0
台湾	461,239	592	-99.9	434,358	14	-100.0	7,921	100	-98.7	18,960	478	-97.5
香港	219,358	161	-99.9	214,948	9	-100.0	2,564	31	-98.8	1,846	121	-93.4
タイ	112,534	719	-99.4	106,035	8	-100.0	2,688	218	-91.9	3,811	493	-87.1
シンガポール	30,180	85	-99.7	27,443	3	-100.0	2,085	23	-98.9	652	59	-91.0
マレーシア	44,829	242	-99.5	41,556	5	-100.0	1,613	87	-94.6	1,660	150	-91.0
インドネシア	37,540	922	-97.5	30,755	13	-100.0	1,680	26	-98.5	5,105	883	-82.7
フィリピン	53,588	998	-98.1	40,371	19	-100.0	2,754	118	-95.7	10,463	861	-91.8
ベトナム	50,424	20,032	-60.3	11,452	10	-99.9	2,156	59	-97.3	36,816	19,963	-45.8
インド	13,884	905	-93.5	3,208	7	-99.8	4,359	75	-98.3	6,317	823	-87.0
豪州	85,314	106	-99.9	81,452	3	-100.0	1,980	20	-99.0	1,882	83	-95.6
米国	117,343	1,206	-99.0	91,560	130	-99.9	14,558	138	-99.1	11,225	938	-91.6
カナダ	28,931	125	-99.6	25,582	19	-99.9	1,400	33	-97.6	1,949	73	-96.3
メキシコ	4,641	56	-98.8	3,841	2	-99.9	326	9	-97.2	474	45	-90.5
英国	24,320	256	-98.9	17,442	12	-99.9	3,594	42	-98.8	3,284	202	-93.8
フランス	16,481	554	-96.6	10,615	20	-99.8	2,746	109	-96.0	3,120	425	-86.4
ドイツ	11,189	351	-96.9	6,226	12	-99.8	3,296	107	-96.8	1,667	232	-86.1
イタリア	6,921	153	-97.8	4,408	4	-99.9	1,465	27	-98.2	1,048	122	-88.4
ロシア	8,399	204	-97.6	6,167	5	-99.9	1,165	78	-93.3	1,067	121	-88.7
スペイン	5,157	174	-96.6	3,609	1	-100.0	632	34	-94.6	916	139	-84.8
中東地域	4,265	125	-97.1	2,930	3	-99.9	697	15	-97.8	638	107	-83.2
その他	82,883	5,796	-99.9	52,179	89	-100.0	9,829	516	-99.9	20,875	5,191	-99.8

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2021年4月21日付より筆者加工

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。